

県民意見の聴取等の実施状況について

1 パブリックコメント

(1) 実施期間 平成 29 年 1 月 30 日 (月) ~ 3 月 1 日 (水)

(2) 提案件数 100 件 (書面による意見、地域説明会・出前説明会での意見)

【項目別内訳と反映状況】

区分	A (全部反映)	B (一部反映)	C (趣旨同一)	D (参考)	E (対応困難)	F (その他)	計	構成比
はじめに						2	2	2.0%
第 1 第 2 期実施計画の 取組の総括				1		7	8	8.0%
第 2 第 3 期実施計画の 考え方			3		1	1	5	5.0%
第 3 第 3 期実施計画の 施策								
1 復興に向けた 3 つの 原則に基づく具体的 取組							51	51.0%
内 訳 再 掲	全 般		1				1	1.0%
	安 全			5	3	7	15	15.0%
	暮 ら し		1	10	1	3	15	15.0%
	な り わ い			6	8	1	15	15.0%
	重点的に取り組む 事項			1	1		3	5
2 三陸創造 プロジェクト	1		5	5		8	19	19.0%
全般に係る意見				1			1	1.0%
その他意見			1	2	1	10	14	14.0%
計	1	0	18	33	6	42	100	100.0%
構成比	1.0%	0%	18.0%	33.0%	6.0%	42.0%	100.0%	

19.0%

2 地域説明会

地域住民に対して周知を図るとともに、意見等を今後の計画策定に反映させるため、沿岸を中心に県内 7 箇所で開催説明会を実施した。

【実施状況】

開催日時	開催地区	会場	出席者数	質問 意見数
1 月 30 日(月) 13:30~14:30	大船渡地区	大船渡地区 合同庁舎	41 人 (男性 32 人・女性 9 人)	12
1 月 31 日(火) 11:00~12:00	釜石地区	釜石地区 合同庁舎	35 人 (男性 33 人・女性 2 人)	5
2 月 2 日(木) 13:30~14:30	久慈地区	久慈地区 合同庁舎	31 人 (男性 27 人・女性 4 人)	11
2 月 3 日(金) 11:00~12:00	宮古地区	宮古地区 合同庁舎	44 人 (男性 35 人・女性 9 人)	12
2 月 3 日(金) 10:30~11:30	盛岡地区	盛岡地区 合同庁舎	27 人 (男性 18 人・女性 9 人)	5
2 月 7 日(火) 13:30~14:30	一関地区	一関地区 合同庁舎	16 人 (男性 14 人・女性 2 人)	6
2 月 14 日(火) 11:00~12:00	二戸地区	二戸地区 合同庁舎	10 人 (男性 8 人・女性 2 人)	3
計			204 人 (男性 167 人・女性 37 人)	54

3 出前説明会等

団体等からの求めに応じて出前説明会を実施したほか、学習会等が開催された。

開催日時	団体名（会議等名）	会場	出席者数
1月11日(水) 13:00~15:00	岩手大学(岩手大学男女共同参画のための学習と交流の会)	岩手大学	20
1月22日(日) 13:30~16:00	岩手大学(「復興のまちづくりにわたしの声を届ける」学習会Ⅱ)	釜石市教育センター	15
1月30日(月) 15:30~16:00	盛岡商工会議所(常議員会)	盛岡商工会議所	36

4 審議会等における復興計画の説明

審議会等において説明を行った。

開催日時	団体名（審議会名）	会場
2月6日(月) 13:30~15:30	岩手県水産審議会	エスポワール
2月6日(月) 13:30~16:00	教育委員会協議会	庁内
2月10日(金) 13:30~15:00	岩手県社会福祉審議会	リリオ
2月10日(金) 13:30~15:30	岩手県都市計画審議会	水産会館
2月13日(月) 15:00~17:00	岩手県総合計画審議会	サンセール
2月14日(火) 10:00~10:50	岩手県政策評価委員会	マリオス
2月14日(火) 13:30~15:30	県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換	サンセール

復興実施計画（第3期）（案）への主な意見

1 パブリックコメント・地域説明会での意見等

項目	意見	区分	計画への反映状況
全体の取組方向	復興の先を見据えた地域振興に取り組むことが極めて重要 であり、「未来のあるべき姿」を地域全体で議論し、将来の目標を共有できるようにする必要がある。	パブコメ (書面)	C 趣旨同一
安全の確保 (防災のまちづくり)	防潮堤等の 工事の際、海浜植物の保護 を図って欲しい。	パブコメ (書面)	D 参考
暮らしの再建 (生活・雇用)	内陸の 災害公営住宅を建設する際には、被災者が安心して暮らすことができるものとなるよう、しっかり考えてほしい。	地域説明会	D 参考
なりわいの再生 (商工業)	震災後に生まれた手仕事などへの支援を行ってほしい。	地域説明会	C 趣旨同一
三陸創造プロジェクト (新たな交流による地域づくり)	人口減少への対応として広域連携が重要と思うが、 連携のビジョンを示して欲しい。	地域説明会	C 趣旨同一
三陸創造プロジェクト (東日本大震災津波伝承まちづくり)	東日本大震災の経験が熊本地震や岩泉の台風にあまり生かされなかったと感じるので、 震災の経験を次に生かす取組を行ってほしい。	地域説明会	C 趣旨同一
三陸創造プロジェクト (さんりくエコタウン形成)	「エコタウン形成プロジェクト」について、再生可能エネルギー、スマートコミュニティなど、 用語が難しいので分かりやすくして欲しい。	地域説明会	A 全部反映
基本計画の期間	2年後の復興計画期間終了時点で、ロードマップの全ての事業が100%にならず、応急仮設住宅にお住まいの方がいる場合、 上位計画である復興基本計画を見直して、期間を延伸するという事もあるのか。	地域説明会	F その他
その他	多重防災型まちづくりが完成する前に巨大津波がもう一回来て、 復興計画そのものが振り出しに戻った場合の対策を盛り込んで欲しい。	地域説明会	E 対応困難

2 審議会等での意見等

項目	意見	区分	計画への反映状況
暮らしの再建 (保健・医療・福祉)	新聞に被災地の子ども意見がよく載るが、心に負担を抱えていると感じる。 子どもの心のサポートに力を入れて欲しい。	社会福祉審議会	C 趣旨同一
なりわいの再生 (水産業・農林業)	漁業者の担い手対策は喫緊の課題。 市町村では専門職の不足もあり、県がリーダーシップを発揮して取り組んで欲しい。	水産審議会	C 趣旨同一
三陸創造プロジェクト (新たな交流による地域づくり)	沿岸部からの人口流出の対策のため、 定住・交流人口増加の取組は重要 である。	教育委員会協議会	C 趣旨同一

3 市町村との意見交換での意見等

項目	意見	区分	計画への反映状況
安全の確保 (防災のまちづくり)	<u>湾口防波堤は安全の確保の前提</u> となるものであり、計画に記載し整備を促進して欲しい。	久慈市	C 趣旨同一
暮らしの再建 (生活・雇用)	災害公営住宅も完成し、コミュニティもできたが、 <u>既存の自治会の弱体化などもあり、どのように支援していくかが課題。</u>	宮古市	C 趣旨同一
基本計画の期間	国の復興期間 10 年と県の 8 年のズレには違和感はある。県の海岸保全事業が遅れているのになぜ、8 年で終了するのかという疑問は残る。国は 10 年で復興庁が無くなると思われるが県の <u>復興局が 8 年で無くなる</u> と困るので <u>継続して欲しい。</u>	山田町	F その他
三陸創造プロジェクト (新たな交流による地域づくり)	<u>観光は沿岸全体で考える必要があり、県のコーディネート</u> を期待している。市町村独自の取組のほか、三陸創造プロジェクトに合わせた取組も進めたい。	大槌町	C 趣旨同一
三陸創造プロジェクト (全般)	<u>三陸創造プロジェクトは、次期総合計画でも取り組むのか。形はどうであっても大事な内容なので載せて欲しい。</u>	釜石市	F その他
第 3 期実施計画の施策 (実施年度)	<u>ソフト事業の必要なものは続けていただけるとの記載はありがたい。</u> 一方で、終了時期も気になる。仮設住宅生活関連や医療費の減免等について、早めに見通しを示して欲しい。	大船渡市	C 趣旨同一
三陸創造プロジェクト (さんりく産業振興)	地域経済を <u>震災前よりも良く</u> という考え方から、 <u>回復にとどまらずに進めてもらいたい。</u>	陸前高田市	C 趣旨同一